

# 中施策評価書

作成日 令和元年 11月 16日

中施策事業名	図書館施設維持管理事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	濱島 早代江

①めざすまちの姿	13 教育や子どもに関する予算が確保され、教育環境がよい
②大施策	教育や子どもに関する予算を確保し、教育環境を整える
③中施策	学校以外の教育施設・設備を充実する
④中施策事業の対象	図書館施設
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	施設の改修や維持管理が適切に実施され、快適に利用できる環境が整っている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設維持管理事業 ・展示室事業 ・施設利用事業 ・館内美化事業

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
入館者数（本館・栄分室・南部公民館図書室）	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	236,000	237,000	238,000	239,000	239,000	239,000
	実績値	223,394	214,657				
単位	人						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		22,190千円	22,840千円		
a	事業費合計	19,267千円	22,840千円	27,761千円	
	正規職員	人数	0.5人	0人	
		b金額	2,923千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		2,923千円	0千円		
② 補助金等(収入)		105千円	95千円	103千円	
③ コスト(①-②)		22,085千円	22,745千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		321円	331円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	入館者数は減っているが、理由はインターネットで蔵書検索や予約をする利用者が増えたためと考えられる。 施設や各設備の老朽化により全体のコストは増額となっているが、館内照明、屋外照明をLED更新したことで、電気料金は前年度より約107万円削減できた。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	机、イスなどが老朽化し利用者に支障があるため、買い替えをする。 前回の電気設備更新から27年を経過しており、高圧電気機器などの経年劣化による危険性があるため、電気設備更新工事を行う。 個別施設計画の策定を進める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	トイレ改修(洋式化)と授乳室の設置は、令和4年度に設計委託、令和5年度に改修工事を計画している。 外壁等施設の改修については、令和2年度に外壁調査を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

# 中施策評価書

作成日 令和元年 5月 25日

中施策事業名	資料情報管理事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	濱島 早代江
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる		
④中施策事業の対象	図書館資料		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	図書館資料の詳細データが整備され、検索が容易にできる状態となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・資料総点検事業 ・電算システム管理事業		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況								
年間の予約件数（web予約含む）		事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		目標値	11,500	11,500	11,500	11,600	11,600	12,000
		実績値	11,429	12,064				
単位	件							
		事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		目標値	0	0	0	0	0	0
		実績値	0	0				
単位								

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		12,698千円	8,843千円		
a	事業費合計	9,775千円	8,843千円	8,844千円	
	正規職員	人数	0.5人	0人	
		b金額	2,923千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	2.5人	0人	
		金額	2,563千円	0千円	
人件費合計		5,486千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		12,698千円	8,843千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		185円	129円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	成果指標は、年々上昇しており、目標値を達成することができた。 主な要因は、スマートフォン等の普及によりweb検索・予約がどこでも容易にできるようになったことが考えられる。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	利用者に資料検索をわかりやすく案内できるようにするため、職員研修を行う。 令和2年度の図書館システム更新に向けて、利用者用検索システムの改善案を作成する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	利用者が必要とする資料情報が簡単に検索できるように、HPで資料検索内できるようにする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

# 中施策評価書

作成日 令和元年 7月 18日

中施策事業名	図書館資料貸出事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	濱島 早代江
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	新しい文化を醸成する		
④中施策事業の対象	図書館利用者（児童・生徒とその保護者及び関係する地域住民）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	読書推進によって、子どもの情操教育が充実し、市民も豊明の歴史・伝統・文化に対する関心が高まっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・広報事業 ・資料収集事業 ・レファレンス事業 ・相互貸借事業 ・利用促進事業 ・行事企画事業 ・学校連携事業 ・ボランティア関連事業		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
年間貸出点数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	447,000	448,000	449,000	450,000	450,000	45,000
	実績値	442,152	447,736				
単位	点						
新規登録者数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	1,350	1,400	1,450	1,500	1,500	1,500
	実績値	1,228	1,472				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		51,147千円	30,769千円		
a	事業費合計	30,689千円	30,769千円	32,411千円	
	正規職員	人数	3.5人	0人	
		b金額	20,458千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	12.3人	0人	
		金額	12,605千円	0千円	
人件費合計		33,063千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		51,147千円	30,769千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		743円	447円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	貸出冊数はおおむね目標値を達成できた。「おすすめコーナー」の継続、愛知県図書館の県立学校読書活動及び学習活動支援事業への参加などが、貸出増につながったと思われる。新規登録者は目標を達成できた。主な理由は貸出カードの更新に伴い、新たに家族が登録するケースが多いと思われる。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者を対象としたボランティア養成連続講座を開催</li> <li>・読書手帳の改善（カラーで作成、目標達成冊数を100冊から50冊に変更）</li> <li>・資料の保存スペース確保のため、除籍本や修理本の選定を通常業務として行う</li> </ul>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>現事業の継続・実績の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立学校学習支援事業（県図書館事業）への参加</li> <li>・おすすめ本コーナーの継続</li> </ul>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況	図書館行事の見直しを行い、新規、継続、廃止等を検討した。 前年度に引き続き、おすすめ本コーナーを手に取りやすいテーマと選書で実施した。	
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況	電子書籍は導入事例が少なく、引き続き調査をする。	

# 中施策評価書

作成日 令和元年 5月 26日

中施策事業名	郷土資料保存事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	濱島 早代江

①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する
④中施策事業の対象	郷土資料等
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	豊明の歴史、伝統、文化に関する資料及び情報が収集されるとともに利用しやすい環境が整備されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土資料収集事業</li> <li>郷土資料整理・保管事業</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
郷土資料の貸出冊数 (原則館内利用だが、5日間の特別貸出可能)	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	120	140	160	180	190	100
	実績値	182	63				
単位	冊						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		決算額		予算額		
		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
① 総事業費(a+b)		3,440千円		525千円				
人件費	a 事業費合計	517千円		525千円		582千円		
	正規職員	人数	0.5人		0人			
		b 金額	2,923千円		0千円			
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0.5人		0人			
		金額	512千円		0千円			
人件費合計		3,435千円		0千円				
② 補助金等(収入)		0千円		0千円		0千円		
③ コスト(①-②)		3,440千円		525千円				
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		50円		8円				

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	平成29年度は市制45周年に関連した行事もあり、郷土資料の貸出が多かった。今年度の貸出冊数は大幅に減少し、28年度以前と比較しても少ない。特設コーナーを利用者の目に入りやすい場所に移動したり、おすすめ本コーナーを活用するなどの工夫が必要である。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	郷土資料の充実を図り、書架の位置やレイアウトを検討する	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	郷土資料における過去のレファレンス、資料提供の実績を分析し、レファレンスツールを整備する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況	児童用郷土資料コーナーを利用しやすい場所に移設	
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		



# 中施策評価書

作成日 令和元年 5月 26日

中施策事業名	視聴覚教育事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	濱島 早代江
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	視聴覚ボランティア等及び図書館利用者（児童・生徒とその保護者及び関係する地域住民）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市の行事や名所などを映像で記録し、展示することによって、豊明の歴史、伝統、文化に関心が高まっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・郷土映像資料整理・保管事業		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
視聴覚郷土資料の 作品数の累計	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	45	50	55	60	60	0
	実績値	47	0				
単位	件						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
① 総事業費(a+b)		3,331千円	111千円		
a	事業費合計	408千円	111千円	58千円	
	正規職員	人数	0.5人	0人	
		b金額	2,923千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		2,923千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		3,331千円	111千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		48円	2円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	大きな改善が必要	×	C
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	統合や廃止、新規事業を検討する	×	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	郷土映像資料収集事業は見送ったため平成30年度の実績はないが、視聴覚講習会で今後の映像制作に関わる受講者を得ることができた。 本事業は、平成31年4月1日豊明市立視聴覚ライブラリー条例廃止により、視聴覚講習会は図書館資料貸出事業のボランティア関連事業として継続していく。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	これまでに収集した郷土映像資料を活用するため、郷土資料保存事業と統合する。図書館開館40周年記念映像の企画、シナリオ等を作成し、図書館ボランティアに制作協力を依頼する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		